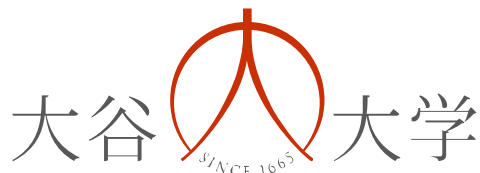


報道関係者 各位



一般参加者募集 &取材のお願い

2009 年 11 月 13 日

大谷大学仏教学会 公開講演会
釈 徹宗 氏「いま、仏教にできること」
ーグループホームの視点からー

聴講無料・申込不要・一般来聴歓迎

謹啓 平素は、本学の教育・研究活動に格別のご理解・ご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、本学仏教学会では下記の通り公開講演会を開催させていただきます。一般市民の皆さまと一緒に考える機会にしたいと存じますので、広くご周知いただくとともに、取材のご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。 謹白

記

- | | |
|--------|------------------------------|
| 1. 日 時 | 2009 年 12 月 1 日 (火) 16:10～ |
| 2. 会 場 | 大谷大学 響流館 (こうるかん) 3 階 メディアホール |
| 3. 講 師 | 釈 徹宗 氏 (兵庫大学教授) |
| 4. 講 題 | いま、仏教にできること ーグループホームの視点からー |

【講師略歴】

1961 年大阪府生。兵庫県大学教授。

専門は宗教学、比較宗教思想。浄土真宗本願寺派如来寺住職。

お寺の裏にある一軒家で、地域の認知症高齢者のためにグループホームを運営する NPO 法人リライフ理事長を勤める。著書には、『親鸞の思想構造』(法蔵館)、『いきなりはじめる仏教生活』(バジリコ)、『仏教ではこう考える』(学研新書)、また内田樹氏との共著『いきなりはじめる浄土真宗』『はじめたばかりの浄土真宗』(いずれも、本願寺出版社) など多数。

【大谷大学仏教学会からのメッセージ】

講師略歴にも記した通り、釈徹宗先生はグループホーム運営という活動をしておられます。このグループホームには仏間が設けられているとのこと。グループホームという福祉活動は、既に日本でもさまざまな形で試みられています。しかし、死を連想させがちな仏間が設けられているという例はあまり無いのではないかと思います。同じグループホームであっても、中心に「ほとけ」がいらっしゃることにはどのような意義があるのでしょうか。

このようなことを、先生ご自身の実践的な活動を通したお話を聞かせていただけたと思います。

一口に「仏教」といっても、教団、寺院、一人ひとりの僧侶、教育・学問研究の場としての大学など様々ですが、どのような立場にあっても現代社会から問われているという点では共通しているように思います。

仏教が社会の中でどのようににはたらき得るのかを考えるには貴重な機会となることでしょう。

「仏教」のみならず、「老い」「福祉」などさまざまな分野に関心をお持ちの方のご来聴をお待ち致しております。

以 上

＜報道関係者／お問い合わせ先＞

大谷大学企画課【岡田・高藤】

075-411-8115